

VII 研究のまとめ

研究主題「共によりよい生活を創造する子どもの育成」の下、1年次は副主題を「非認知的能力『目標への情熱』と『粘り強さ』に着目した学びのデザインを通して」とし、研究を進めてきた。

本研究の結果、以下の成果と課題が明らかとなった。

【成果】

- 各教科等において、「共によりよい生活を創造する子ども」の育成に向けて、「目標への情熱」と「粘り強さ」が発揮された姿を捉えてきた。その結果、笑顔や真顔などの表情と、前傾姿勢や行動の速さ、身振り手振りといった体の動き、そして目標に向かう自らの動き出しが、「目標への情熱」を発揮する姿の一側面として現れると分かった。また、笑顔や真顔、悩んでいる表情での継続的な取組や、動きが止まった後に他者や掲示物、学習プリントから情報を得る行動、一往復半以上の対話、考えを見返したり更新し続けたりする行動が、「粘り強さ」を発揮する姿の一側面として現れると分かった。
- 各教科等部では、「目標への情熱」と「粘り強さ」が発揮された姿が現れるための学びのプロセスと、そのプロセスを生み出す真正な学びのデザインの工夫を行った。真正な学びのデザインをする際には、「教科等を学ぶ本質的な意義に迫る学び」と、「当事者意識のある学び」や「現実の生活に近付ける学び」とを視点とした。その結果、「目標への情熱」と「粘り強さ」を発揮する子どもが、教科等の学びの中で見られるようになった。
- 「目標への情熱」を発揮する子どもの姿が現れた一要因を以下に記す。まず、各教科等部が真正な学びを再考し、教師と子どもとがゴールイメージを明確にした学びのデザインの工夫をしたことで、教科等を学ぶよさや魅力に迫る、目標への意識を高められたと考えられる。また、子どもたちの思いや願い、必要感、困り感や、意識のつながりを基に学びのデザインの工夫をしたことで、学びを自分ごととして捉えられたと考えられる。
- 「粘り強さ」を発揮する子どもの姿が現れた一要因を以下に記す。まず、他の情報や友達から刺激を受け取れる環境構成を学びのデザインに取り入れたことで、活動が止まりそうな状況の中でも、目標を達成するための糸口や、考えを再考する必要感を見だし、活動の継続が生まれたと考えられる。また、「目標への情熱」が高まっていることで、途中で投げ出すことなく活動を続けられたことも要因として考えられる。
- 「目標への情熱」と「粘り強さ」を発揮する子どもたちからは、課題を自分の力で解決していく姿や自分にとって困難な課題においても投げ出すことなく活動に取り組む姿が見られた。これは、「共によりよい生活の創造」という正解のない未知の状況の中で、自分のことだけではなく、他者や社会、自然に目を向けて、歩みを進めていくことにつながる姿であると考えられる。

【課題】

- 非認知的能力は、数値で図ることができない資質・能力である。そのため、「目標への情熱」と「粘り強さ」が発揮されたとは断定しきれない姿も見られた。また、未だ捉えきれない姿も存在すると考えられる。このことから、長期的で継続的な取組と子どもたちの姿の見取りの分析とが必要となる。
- 本研究を進めていく中で、活動に没頭するあまり、他者との対話が少なくなったり、自分のこだわりが強い発言があったりと、課題が見られた。「共によりよい生活を創造する子ども」の育成において、目標に向かう中での、他者との協働や思いやりは欠かすことができない。そのため、他者との協働や思いやりといった非認知的能力にも着目し、「目標への情熱」と「粘り強さ」を発揮しながらも、協働的に自ら歩みを進めていく学びのデザインの再考が、必要である。

【参考文献】

- ・文部科学省『小学校学習指導要領』，東洋館出版社，2017 年。
- ・中央教育審議会『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して ～全ての子供たちの可能性を引き出す，個別最適な学びと，協働的な学びの実現～（答申）』，2021 年。
- ・国立政策研究所『資質・能力の包括的育成に向けた評価の在り方の研究』，2017 年3月。
- ・OECD，ベネッセ教育総合研究所企画制作，無藤隆・秋田喜代美監訳『社会情動的スキル 学びに向かう力』，明石書店，2018 年。
- ・白井俊『OECD Education2030 プロジェクトが描く教育の未来:エージェンシー，資質・能力とカリキュラム』，ミネルヴァ書房，2020 年。
- ・A.ダックワース『やり抜く力 GRIT－人生のあらゆる成功を決める「究極の能力」を身につける』，ダイヤモンド社，2016 年。
- ・奈須正裕『次代の学びを創る知恵とワザ』，ぎょうせい，2020 年。
- ・田村学『深い学び』，東洋館出版社，2018 年。
- ・中山芳一『自分と相手の非認知能力を伸ばすコツ』，東京書籍，2020 年。
- ・J.レイヴ，E.ウェンガー，福島真人解説，佐伯胖訳『状況に埋め込まれた学習 正統的周辺参加』産業図書，1993 年。
- ・鹿毛雅治，『モチベーションの心理学 「やる気」と「意欲」のメカニズム』，中央公論新社，2022 年。
- ・大島純，千代西尾祐司ら，『主体的・対話的で深い学びに導く 学習科学ガイドブック』，北大路書房，2019 年。
- ・小塩信司ら，『非認知能力 概念・測定と教育の可能性』，北大路書房，2021 年。